



ユーザマニュアル

TKC FX4 版 処理手順

2024/11/06

株式会社 HAYAWAZA

# 1. 内容

1. 内容 .....	1
2. 事業所データの作成.....	2
1.1.消費税情報の確認 .....	2
1.2.マスター出力 .....	5
3. 事業所の作成.....	9
3.1.事業所データの新規作成 .....	9
3.2.事業所データの設定 .....	16
4. 取引先について .....	19
4.1 取引先の管理.....	19
4.2 「0：随時入力」で取引先名を出力する方法 .....	21
5. コンバート時の勘定科目と課税区分について.....	22
6. 書き出し準備.....	25
7. 仕訳データの取込.....	33
7.1 仕訳データの取込 .....	33
7.2.TKC 取込時のエラー対処方法 .....	39

## 2. 事業所データの作成

### 1.1.消費税情報の確認

HAYAWAZA で事業所データの作成を行う前に、TKC FX4 で作成する事業所の消費税情報の確認と、勘定科目、補助科目（取引先、自社銀行口座等）、部門のマスターの出力を行います。

※TKC FX4 版は弥生会計と違い自動連動は行いませんので、マスター登録を行わないとパターン登録を行う事が出来ません。

「会社情報」→「A.基本情報の確認」→「1. 商号・代表者等」の画面の以下の項目を確認します。

FX4		ABCオートサプライ株式会社 (デモ)		本日：平成30年 3月31日(土)	
商号・代表者等					
1. 分類コード		09999 / 999			
2. 商号/法人番号		ABCオートサプライ株式会社 (デモ)			
3. 住所	郵便番号	103-0000	東京都中央区 1-2-3		
		平成NSビルディング19階			
4. 代表者	氏名	田中 一郎			
	生年月日	昭和	28	年	3
			月		1
	性別	男			
5. 電話番号		03-1234-5678	FA X番号		
6. 法人組織区分		10	株式会社		
7. 業種コード		2813	半導体素子製造業 (光電変換素子を除く)		
8. 都道府県コード		13	東京都		

「A.基本情報の確認」→「2. 経理情報」の画面の以下の項目を確認します。

経理情報

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 平成30年 3月31日 (土)

1. 事業年度 第 21 期

2. 決算月 12 月 財務締日 通常月 末 日  
決算月 末 日

3. 申告期限 3 月 末 日

4. 整理番号

5. 諸口勘定  
(資金諸口) 9991 資金諸口  
(資金外諸口) 9992 資金外諸口

6. 訂正・削除履歴を残さない期間  
入力日より 0 日間

7. 製品製造原価科目  
 利用する  利用しない

8. 期末整理仕訳の入力  
 毎月  四半期ごと  半期ごと  決算月

<会計期間のとりえ方>

決	処理年月	期 間
	29年11月	29年11月 1日~29年11月30日
*	29年12月	29年12月 1日~29年12月31日
	30年 1月	30年 1月 1日~30年 1月31日
	30年 2月	30年 2月 1日~30年 2月28日
	30年 3月	30年 3月 1日~30年 3月31日
	30年 4月	30年 4月 1日~30年 4月30日
	30年 5月	30年 5月 1日~30年 5月31日
	30年 6月	30年 6月 1日~30年 6月30日
	30年 7月	30年 7月 1日~30年 7月31日
	30年 8月	30年 8月 1日~30年 8月31日
	30年 9月	30年 9月 1日~30年 9月30日
	30年10月	30年10月 1日~30年10月31日
	30年11月	30年11月 1日~30年11月30日
*	30年12月	30年12月 1日~30年12月31日
	31年 1月	31年 1月 1日~31年 1月31日
	31年 2月	31年 2月 1日~31年 2月28日
	31年 3月	31年 3月 1日~31年 3月31日
	31年 4月	31年 4月 1日~31年 4月30日
	1年 5月	1年 5月 1日~ 1年 5月31日

OK キャンセル

「A.基本情報の確認」→「3. システム情報」の画面の以下の項目を確認します。

システム情報

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 平成30年 3月31日 (土)

システム情報1 | システム情報2 | システム情報3 | システム情報4 |

1. 基本システム利用開始日  
開始日: 平成28年 1月 1日

2. 変動損益計算書の表示位置  
 前期実績値/計画値  計画値/前期実績値

3. たな卸高・他勘定振替高の固変分解  
 全額変動費とする  
 総製造費用中の変動費割合で固変分解する  
各部門の固変分解  
 一律、全社の割合を使用  各部門の割合を使用

4. 部門別管理  
部門コード省略値 000 共通部門  
共通費の配賦方法  
 簡易型  詳細型  
変動費:  ウェイト配賦  実額入力  
人件費:  ウェイト配賦  実額入力  
その他固定費:  ウェイト配賦  実額入力  
設備費:  ウェイト配賦  実額入力  
 配賦額を部門別損益計算書等へ表示する

5. 資金管理  
 資金収支の管理を行う  
内訳管理する項目  
 全項目  経常収支のみ

6. 資金収支区分の内訳数  
 1 2 区分  
 2 4 区分

7. 支払・入金管理  
 支払・入金管理機能を利用する

8. 手形管理  
開始日: 平成 28 年 1 月 1 日  
 本日期日の手形を表示  手形登録時の金額をチェック  
 手形決済時の金額をチェック

9. 電子記録債権管理  
開始日: 平成 28 年 1 月 1 日  
 期日直前の電債を表示:  日前から表示  
 電債登録時の金額をチェック  電債決済時の金額をチェック

10. プロジェクト管理  
 プロジェクト管理機能を利用する

OK キャンセル

「A.基本情報の確認」→「4. 消費税情報」の画面の以下の項目を確認します。

行	項目	平成29年12月現在	子 約		
1	行2、3の開始日		令和	年 月 (平成 年 月 日 から)	
2	消費税申告書自動作成区分	自動作成する	<input type="radio"/> 自動作成する	<input type="radio"/> 自動作成しない	
3	税額経理区分	税抜き経理	<input type="radio"/> 税抜き経理	<input type="radio"/> 税込み経理	
行	項目	平成29年12月現在	子 約		
4	行5の開始日		令和	年 月 (平成 年 月 日 から)	
5	課税方式区分	本則課税方式	<input type="radio"/> 本則課税方式	<input type="radio"/> 簡易課税方式 <input type="radio"/> 免税事業者	
行	項目	平成29年12月現在	子 約		
6	行7の開始日		令和	年 月 (平成 年 月 日 から)	
7	課税期間の短縮	短縮しない	<input type="radio"/> 短縮しない	<input type="radio"/> 短縮する(3か月) <input type="radio"/> 短縮する(1か月)	
行	項目	内 容			
8		適用開始日	標準税率	軽減税率	経過措置等の税率
	税率テーブル[1]	平成 26年 4月 1日	8.0%	8.0%	5.0% 10.0% % %
	税率テーブル[2]	令和 1年 10月 1日	10.0%	8.0%	8.0% 5.0% % %
9	仕入日入力区分	<input type="radio"/> 入力しない	<input checked="" type="radio"/> 課税区分5~8まで入力		<input type="radio"/> 課税区分5~78まで入力
10	取引入力時の(内、消費税等)の確認	<input checked="" type="radio"/> 確認する	<input type="radio"/> 確認しない		
11	取引入力時の仕入税額控除要件チェック	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない		
12	連携仕訳の仕入税額控除要件月次チェック	連携システムごとの設定 <input type="checkbox"/> 月次締切業務で仕訳をチェックするかをかがを設定します。			

HAYAWAZA で設定する消費税情報は、

- 「課税方式区分」 : 本則課税方式、簡易課税方式、免税事業者
- 「税額経理区分」 : 税抜き経理、税込み経理
- 「端数処理」 : 切り捨て、四捨五入、切り上げ
- 「資金管理」 : 資金収支の管理を行う、行わない
- 「事業区分」 : 第一種（卸売り分）、第二種（小売り分）、  
第三種（製造建築）、第四種（その他）、  
第五種（サービス等）、第六種（不動産）
- 「諸口勘定」 : 資金諸口コード、資金外諸口コード

以上から該当するものを選択します。

消費税情報の確認が出来たら「勘定科目残高」、「口座／取引先別残高」、「部門別科目別残高」のマスターの出力を行います。

尚、「取引先一覧」の登録方法と活用に関しては、本マニュアルにある「取引先一覧の登録とコンバート方法」をご確認下さい。

## 1.2. マスター出力

「勘定科目残高」、「口座／取引先別残高」、「部門別科目別残高」のマスターの出力は「会社情報」→「F.データ切り出し」→「61. 科目情報の切り出し」画面から選択します。

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ)		本日：平成30年 3月31日(土)	
日常業務	仕訳連携	資金管理	最新業績
月次・年次決算	経営計画	会社情報	
<b>A 基本情報の登録・修正</b>		<b>D マスター情報の登録・修正</b>	
1 商号・代表者等	3 システム情報	39 銀行・支店情報	44 月次決算準備
2 経理情報	4 消費税情報	40 自社銀行口座情報	45 プロジェクト
<b>B ユーザ情報の登録・修正</b>		41 摘要一覧自動作成	46 銀行信販データ受信準備
11 業務範囲の設計	13 部門参照権限の設定	42 出納帳の指定	47 スキャンデータ仕訳計上準備
12 ユーザー名情報	14 仕訳の承認表示設定	43 重要残高確認	48 印'からのデータ受信準備
<b>C 勘定科目情報の登録・修正</b>		<b>E 一覧表の印刷</b>	
21 勘定科目情報	24 資金相手科目	51 一覧表の印刷	
22 利益管理表の設計	25 預貸管理科目	<b>F データ切り出し</b>	
23 科目別課税区分一覧	26 内訳管理科目の設定	61 科目情報の切り出し	63 手形情報の切り出し
<b>D マスター情報の登録・修正</b>		62 仕訳情報の切り出し	64 取引先情報の切り出し
31 入力制御情報	35 社員名	<b>G 担当者ログ</b>	
32 取引先名	36 専用摘要	71 ログ'の検索ボタン事前登録	72 担当者ログ'の確認
33 部門名	37 仕訳辞書		
34 部門グループ	38 月次仕訳辞書		

上記のメニューを選択すると以下の画面が表示されます。

科目情報の切り出し

勘定科目情報

切り出すデータ

勘定科目残高

勘定科目残高内訳形式 (科目と内訳)

口座/取引先別残高

勘定科目残高並列形式 (内訳のみ)

部門別科目別残高

部門別科目別残高内訳形式 (科目と内訳)

部門別科目別口座別残高

部門別科目別残高 (内訳のみ)

部門別科目別取引先別残高

切り出す期間

平成 19 年 1 月 ~ 平成 29 年 12 月

出力部門

すべての部門

部門個別指定 (複数選択可)

000 全社

100 共通部門

100 本社

200 (合計)東京営業部

200 東京営業部

科目の指定

全科目

科目個別指定

内訳科目の指定

口座別残高を切り出す

取引先別残高を切り出す

元帳出力区分に従って切り出す

切り出し形式

指定期間の残高、月別計上額が0円の科目、  
口座、取引先の切り出し

切り出す

切り出さない

ファイル名

科目残高

切り出し先フォルダ

C:\Users\User\Desktop\FX4¥マスタ出力

変更

テキストファイル Excelシート キャンセル

「勘定科目残高」を選択して「テキストファイル」ボタンを選択します。選択すると切り出し先フォルダにファイルが出力されます。

以下は、「口座／取引先別残高」の出力方法をご説明します。「口座／取引先別残高」を選択して「テキストファイル」ボタンを選択します。選択すると切り出し先フォルダにファイルが出力されます。

科目情報の切り出し

勘定科目情報

切り出すデータ

- 勘定科目残高
- 口座／取引先別残高
- 部門別科目別残高
- 部門別科目別口座別残高
- 部門別科目別取引先別残高
- 勘定科目残高内訳形式 (科目と内訳)
- 勘定科目残高並列形式 (内訳のみ)
- 部門別科目別残高内訳形式 (科目と内訳)
- 部門別科目別残高 (内訳のみ)

切り出す期間

平成 19 年 1 月 ~ 平成 29 年 12 月

科目の指定

- 全科目
- 科目個別指定

内訳科目の指定

- 口座別残高を切り出す
- 取引先別残高を切り出す
- 元帳出力区分に従って切り出す

切り出し形式

指定期間の残高、月別計上額が0円の科目、  
口座、取引先の切り出し

- 切り出す
- 切り出さない

出力部門

- すべての部門
- 部門個別指定 (複数選択可)
- 部門グループ

グループ分類 01 規模別

- 全グループ
- 個別グループ指定 (複数選択可)

切り出し先フォルダ

C:\Users\User\Desktop\FX4\マスタ出力

変更

テキストファイル Excelシート キャンセル



以下は、部門に関する出力方法をご説明します。「部門別科目別残高」もしくは、「部門別科目別口座別残高」を選択して「テキストファイル」ボタンを選択します。選択すると切り出し先フォルダにファイルが出力されます。

科目情報の切り出し

勘定科目情報

切り出すデータ

- 勘定科目残高
- 勘定科目残高内訳形式 (科目と内訳)
- 口座/取引先別残高
- 勘定科目残高並列形式 (内訳のみ)
- 部門別科目別残高
- 部門別科目別残高内訳形式 (科目と内訳)
- 部門別科目別口座別残高
- 部門別科目別残高 (内訳のみ)
- 部門別科目別取引先別残高

切り出す期間

平成 19年 1月 ~ 平成 29年 12月

科目の指定

- 全科目
- 科目個別指定

内訳科目の指定

- 口座別残高を切り出す
- 取引先別残高を切り出す
- 元帳出力区分に従って切り出す

切り出し形式

指定期間の残高、月別計上額が0円の科目、  
口座、取引先の切り出し

- 切り出す
- 切り出さない

出力部門

- すべての部門
- 部門個別指定 (複数選択可)

000 全社  
100 共通部門  
100 本社  
200 (合計)東京営業部  
200 東京営業部

- 部門グループ

グループ分類 01 規模別

- 全グループ
- 個別グループ指定 (複数選択可)

A 大規模  
B 中規模

ファイル名 部門口座

切り出し先フォルダ C:\Users\User\Desktop\FX4\マスタ出力

テキストファイル Excelシート キャンセル

注意：「部門別科目別残高」もしくは、「部門別科目別口座別残高」の出力は、部門管理がされていない場合は、出力することができませんのでご注意ください。

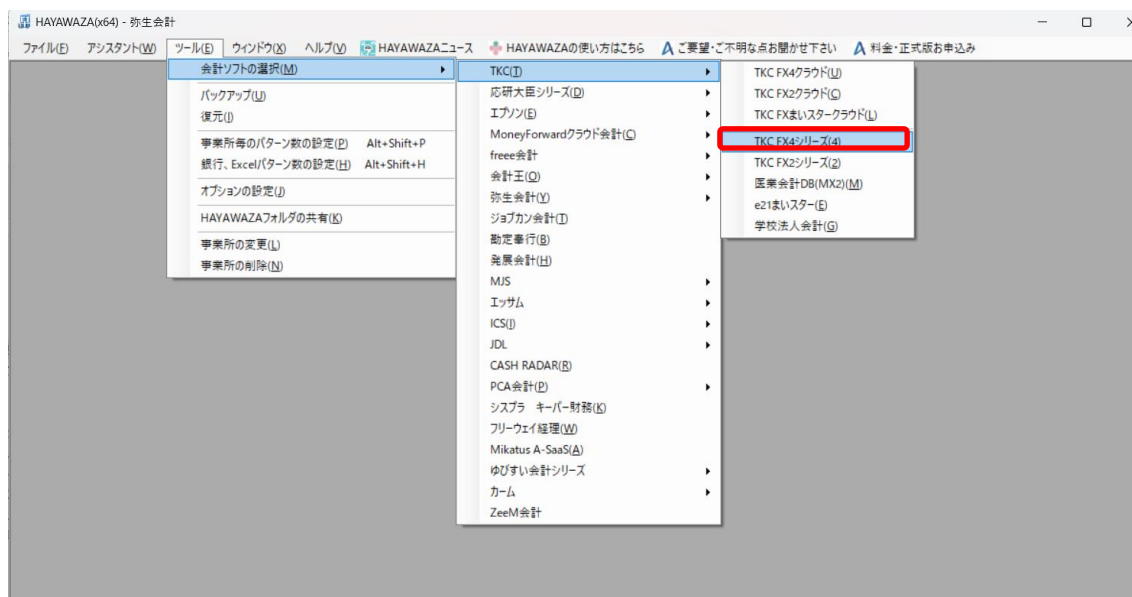
### 3. 事業所の作成

#### 3.1.事業所データの新規作成

HAYAWAZA を起動し、左上のタイトルバーが「TKC FX4 シリーズ」もしくは「TKC FX4 クラウド」以外の場合、会計ソフトの変更をします。



TKC FX4 版に変更するには、「ツール」の「会計ソフトの選択」で「TKC FX4 シリーズ」もしくは「TKC FX4 クラウド」を選択します



会計ソフトの変更を行うと、タイトルバーの表示が「TKC FX4 シリーズ」となります。



メニューの「ファイル」→「事業所の新規作成」をから事業所の設定を行います。

「事業所の新規作成」を選択すると、以下の画面が表示されます。

TKC FX4シリーズ設定ウィザード - 事業所詳細の設定(1/3)

会社名	関与先コード
<input type="text"/>	<input type="text"/> 分類コード・合併コードの(xxxxx/999/xxx)
決算期	会計期間
第 1 期	2024年 4月 1日 ~ 2025年03月31日
課税方式区分	税額経理区分
<input checked="" type="radio"/> 本則課税方式 <input type="radio"/> 簡易課税方式 <input type="radio"/> 免税事業者	<input checked="" type="radio"/> 税抜き経理 <input type="radio"/> 税込み経理
端数処理	資金管理
<input type="radio"/> 切り捨て <input checked="" type="radio"/> 四捨五入 <input type="radio"/> 切り上げ	<input type="checkbox"/> 資金収支の管理を行う
事業内容	
<input type="radio"/> 第一種(卸売り分) <input type="radio"/> 第二種(小売り分) <input type="radio"/> 第三種(製造建設) <input type="radio"/> 第四種(その他) <input type="radio"/> 第五種(サービス等) <input type="radio"/> 第六種(不動産) <input checked="" type="radio"/> 指定なし	
諸口勘定	
資金諸口コード: <input type="text" value="9991"/>	
資金外諸口コード: <input type="text" value="9992"/>	
データ作成システム区分	
システム区分: <input type="text"/> (業務システムコードを入力してください)	

登録する会社名、決算期、会計期間、消費税情報を設定します。

注意:「システム区分」は TKCFX4 の「業務システムの登録」で設定している HAYAWAZA 用のコードを登録してください。FX4 で設定していないシステム区分を登録すると、仕訳の取込の際 FX4 側でエラーが発生します。

TKC FX4シリーズ設定ウィザード - 事業所詳細の設定(1/3)

会社名	関与先コード
<input type="text"/>	<input type="text"/> 分類コード・合併コードの(xxxxx/999/xxx)
決算期	会計期間
第 1 期	2024年 4月 1日 ~ 2025年03月31日
課税方式区分	税額経理区分
<input checked="" type="radio"/> 本則課税方式 <input type="radio"/> 簡易課税方式 <input type="radio"/> 免税事業者	<input checked="" type="radio"/> 税抜き経理 <input type="radio"/> 税込み経理
端数処理	資金管理
<input type="radio"/> 切り捨て <input checked="" type="radio"/> 四捨五入 <input type="radio"/> 切り上げ	<input type="checkbox"/> 資金収支の管理を行う
事業内容	
<input type="radio"/> 第一種(卸売り分) <input type="radio"/> 第二種(小売り分) <input type="radio"/> 第三種(製造建設) <input type="radio"/> 第四種(その他) <input type="radio"/> 第五種(サービス等) <input type="radio"/> 第六種(不動産) <input checked="" type="radio"/> 指定なし	
諸口勘定	
資金諸口コード: <input type="text" value="9991"/>	
資金外諸口コード: <input type="text" value="9992"/>	
データ作成システム区分	
システム区分: <input type="text"/> (業務システムコードを入力してください)	

次へ(K) >    キャンセル(C)

会社情報の設定が出来たら「次へ」を選択します。

下記の画面では、HAYAWAZA で作成した事業所にパスワードを設定したい場合に設定を行います。「管理者のパスワードを設定する」チェックボックスをチェックしてパスワードの入力して下さい（不要の場合は、この画面で管理者パスワードを省略して下さい）。

TKC FX4シリーズ設定ウィザード - 管理者パスワードの設定画面(2/3)

HAYAWAZAでは、事業所のデータのアクセスパスワードを設定することが可能です。  
事業所のアクセスする「管理者」にパスワードを設定しますか？

管理者のパスワードを設定する

パスワードの設定

入力:

再入力:

**注意：**

このパスワードの設定は、事業所を作成した後でも設定することは可能です。  
詳しくは、「ユーザ管理」をご確認下さい。

管理者パスワード設定画面で「次へ」を選択すると下記の画面が表示されます。  
設定の確認画面です。設定内容が正しければ「登録する」を選択して下さい。修正する場合は、「戻る」を選択して修正して下さい。

TKC FX4シリーズ設定ウィザード - 確認画面(3/3)

<b>事業所情報</b>
会社名: HAYAWAZA TKCFX4
関与先コード: 999
会計期間: 第1期(2024年04月01日 ~ 2025年03月31日)
<b>消費税情報</b>
課税方式区分: 本則課税方式
税額経理区分: 税抜き経理
端数処理: 四捨五入
事業内容: 指定なし
<b>資金管理</b>
資金収支の管理を行う: 設定しない
<b>諸口勘定</b>
資金諸口コード: 9991
資金外諸口コード: 9992
<b>データ作成システム区分</b>
システム区分: 103
<b>早業管理者パスワード</b>
未設定

正しく登録されると完了画面が表示されます。

TKC FX4シリーズ設定ウィザード - 確認画面(3/3)

**事業所情報**  
会社名: HAYAWAZA TKCFX4  
関与先コード: 999  
会計期間: 第1期(2024年04月01日 ~ 2025年03月31日)

**消費税情報**  
課税方式区分: 本則課税方式  
租額経理区分: 租額経理

**資金管理**  
資金収支  
諸口勘定  
資金外諸口コード: 9992

**データ作成システム区分**  
システム区分: 103

**早業管理者パスワード**  
未設定

登録が完了しました。

OK

< 戻る(J)    ▶ 登録する(Y)    ✕ キャンセル(C)

次に、事業所で使用する銀行、もしくは Excel のパターン数を設定します。

「登録可能パターン数の設定」画面では、「銀行パターン数の設定」と「Excelパターン数の設定」の2つの値を設定して下さい。

登録可能パターン数の設定

事業所一覧

検索

表示オプション  
 繰越済の事業所も表示する

事業所名	決算期	会計期間	銀行パターン(登録/設定)	Excelパターン(登録/設定)
HAYAWAZA TKCFX4	1	R.06/04/01-R.07/03/31	(--/0)	(--/0)

データベース名: HAYAWAZA TKCFX4(1期).mdb

登録日時: 2024年07月12日 14時23分32秒

更新日時: 2024年07月12日 14時23分33秒

全事業所のパターン数をリセット(J)

全事業所の登録パターン数を更新する(K)

銀行パターン数の設定  
0 0から36の値が設定可能(現在の設定パターン数: 0)

Excelパターン数の設定  
0 0から45の値が設定可能(現在の設定パターン数: 0)

エクスポート(J) ファイルを選択して開く(K) 設定する(Y) キャンセル(N)

**注意：**

登録可能なパターン数は、「ヘルプ」⇒「ライセンス情報」で確認して下さい。体験版ライセンスには、銀行パターン、Excelパターンとも「10」となっております。

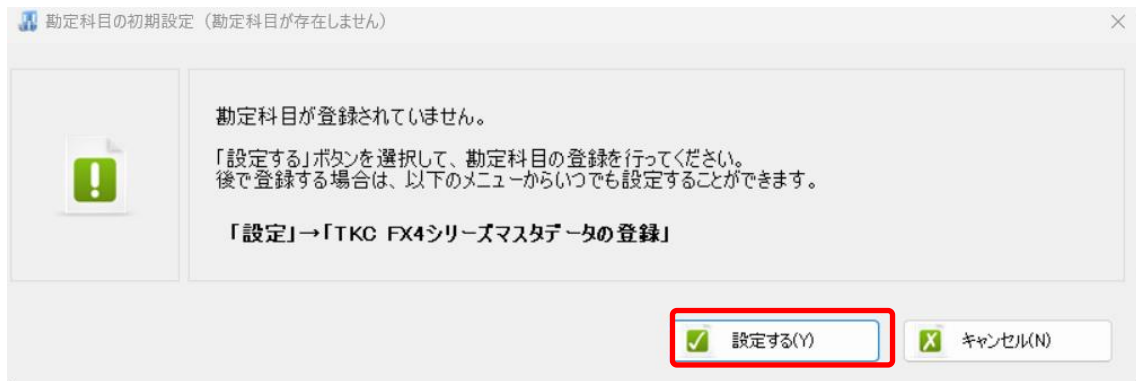
上記の画面で設定したパターン数は、後で変更することが可能です。詳しくは、「登録パターン数の設定」をご確認下さい。

パターン数を入力し「設定する」ボタンをクリックすると、マスタファイルの登録画面になります。



### 3.2.事業所データの設定

事業所の作成およびパターン数の設定が完了すると以下の「勘定科目の初期設定」画面が表示されます。(マスター登録後は表示されなくなります)



「設定する」を選択するとマスターデータの登録画面が表示されます。

TKC から出力した「勘定科目残高」、「口座／取引先別残高」、「部門別科目別残高」のマスターファイルを画面上にドロップします。



データをドロップするとデータのファイル選択画面が表示されます。

画面上部にはドロップしたデータファイルが一覧で表示され、画面下部にマスターデータのプレビューが表示されます。複数のデータをドロップした場合は選択したマスターファイルの内容がプレビュー画面に表示されます。

ファイル一覧でチェックをつけたデータが登録の対象となりますので、必要なデータにチェックをつけます。

TKC FX4シリーズマスターファイル読み込み - マスタファイルの選択

以下の一覧から登録するファイルをチェックして、「登録」ボタンを選択するとマスタファイルの内容が登録されます。

ファイル一覧

- (科目名称一覧)科目残高

処理オプション

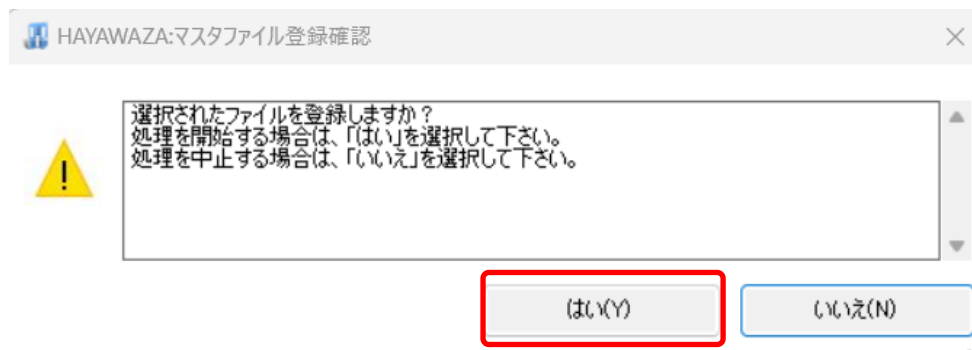
現在のマスターデータを無効にせず、新しいデータを追加する

マスタ内容のプレビュー

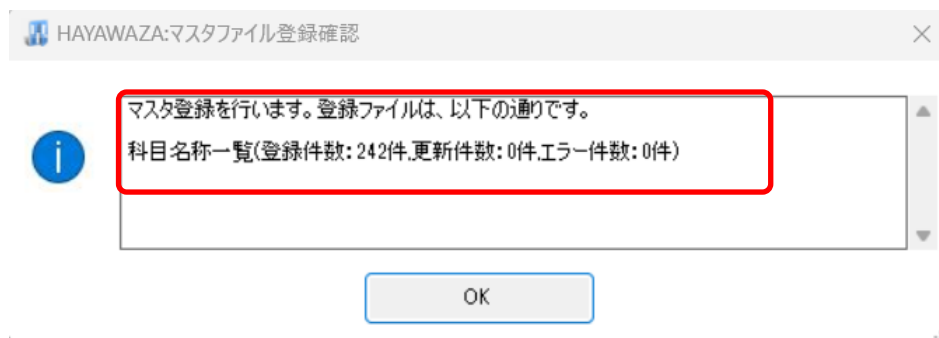
1111		現金	84549	0	84549	66
1112		当座預金	13198333	0	13198333	31
1113		普通預金	0	0	0	0
1114		定期預金	0	0	0	0
1115			0	0	0	0
1116			0	0	0	0
1121		受取手形	9217920	0	9217920	85
1124		電子記録債権	2489927	0	2489927	-8
1122		未掛金	31250111	0	31250111	-4

< 戻る(J)      登録する(Y)      閉じる(C)

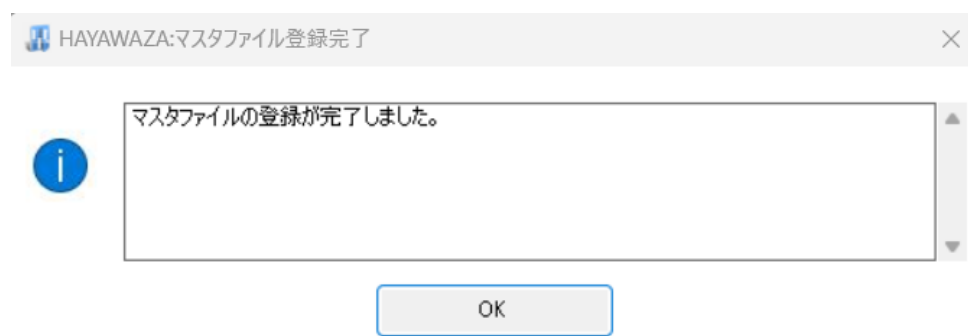
データファイルのチェックをつけ、「登録する」を選択すると確認画面が表示されるので、「はい」を選択します。



上記の画面で「はい」を選択すると、マスターファイルの登録が開始され、終了時に登録結果が表示されます。



上記の画面で「OK」をクリックするとマスター登録が完了し、以下の画面が表示されます



すべてのマスターの登録が完了したらパターンの登録、設定を行っていきます。

**※詳しくはマニュアルを参照ください。**

## 4. 取引先について

### 4.1 取引先の管理

取引先一覧を登録すると HAYAWAZA で取引先を出力することができます。

※HAYAWAZA 上では取引先の項目（列）がないため、代わりに摘要欄を取引先として扱います。

(1) パターン設定の際に借方摘要 1～3、貸方摘要 1～3の中からどれか 1 つを取引先として扱うかを決めていただき、元データの取引先の列（またはセル）を指定してください。

仕訳No. 日付 金額 消費税額 借方科目 借方部門 借方税区分 借方税率 借方摘要 貸方科目 貸方部門 貸方税区分 貸方税率 貸方摘要

「摘要1」列指定: 現在の選択を「摘要1(借方)」に設定  
 「摘要1」を入力:

「摘要2」列指定: 現在の選択を「摘要2(借方)」に設定  
 「摘要2」を入力:

「摘要3」列指定: 現在の選択を「摘要3(借方)」に設定  
 「摘要3」を入力:

半角変換  全角変換 未設定  
 空欄の摘要は、直前を使用  
 Excelシート名を「摘要1」に指定  
 「摘要1」を指定しない

半角変換  全角変換 未設定  
 空欄の摘要は、直前を使用  
 Excelシート名を「摘要2」に指定  
 「摘要2」を指定しない

半角変換  全角変換 未設定  
 空欄の摘要は、直前を使用  
 Excelシート名を「摘要3」に指定  
 「摘要3」を指定しない

設定一覧の選択行を修正

+ 追加(U)

(2) 「設定」→「取引先の管理」→「取引先の管理」より、取引先として出力する摘要を設定します。

HAYAWAZA(x64) - [HAYAWAZA TKCFX4・第1期(R.06/04/01-R.07/03/31) - TKC FX4シリーズ]

ファイル(F) データ(D) 設定(E) システム(W) ウィンドウ(X) ヘルプ(V) HAYAWAZAニュース HAYAWAZAの使い方はこちら A ご要望・ご不明な点お聞かせ下さい A 料金・正式版お申込み

TKC FX4シリーズ設定情報(V)  
TKC FX4シリーズマスターデータの登録(O)  
TKC FX4シリーズマスターデータ登録の履歴一覧(P)

銀行データのパターン管理(H) Alt+I  
銀行パターン一覧の更新(J)  
銀行パターンオプション(K)  
Excelデータのパターン管理(L) Alt+O

勘定科目の管理(N)  
部門の管理(M)

取引先の管理(T) 取引先の管理(1)

税区分の管理  
置換文字の管理(R)  
実際の仕入れ年月日の管理(X)

表示・書き出しソートの設定(4)  
コンバートの設定(5)  
書き出しの設定(6)  
通貨換算の設定(7)  
反映処理の設定(8)  
マッチングリストの管理(9)  
銀行、Excelのパターン数の設定(0)  
メールの設定(S)  
プロバイロットの管理(P)  
その他(L)

No.	日付	借方金額	借方消費税額	借方税区分	借方税計算区分	借方摘要1	借
25	2024/10/14	6					
26	2024/10/14	6					
27	2024/10/16	5					
28	2024/10/16	5					
7	2024/10/17	1					
29	2024/10/17	6					
30	2024/10/18	6					
31	2024/10/19	6					
32	2024/10/20	6					
33	2024/10/21	6					
34	2024/10/22	6					
35	2024/10/23	5					
36	2024/10/24	5					
37	2024/10/24	6					
38	2024/10/25	5					
8	2024/10/26	1					
39	2024/10/26	5					
40	2024/10/26	5					
未変換リスト(銀行) 未変換							



上記設定を行うと指定した摘要を取引先として扱い、取引先マスタとのマッチングが可能になります。

取引先は基本的に自動でマッチングされます。

マッチングされない取引先に関しましては、手動での登録が必要となります。

取引先マッチングについては、別紙 [「取引先のマッチングについて」](#) を参照してください。

## 4.2 「O：随時入力」で取引先名を出力する方法

HAYAWAZA では、取引先一覧を登録することなく、書き出し時に「O：随時入力」で「取引先名」を出力することが可能です。

先ほどの「取引先の管理」から「TKC 版オプション」のタブを選択します。

取引先の管理

取引先オプション TKC版オプション

取引先優先度オプション

補助科目の取引先ではなく、摘要を優先して出力する  取引先別元帳区分以外でも取引先を出力

補助科目優先度オプション

補助科目に補助コードが指定されている場合は、補助コードを優先して出力する

摘要の「取引先名(随時入力)」出力優先オプション

「その他取引先(999999)」ではなく、摘要の「取引先名(随時入力)」出力を優先して出力する

検索

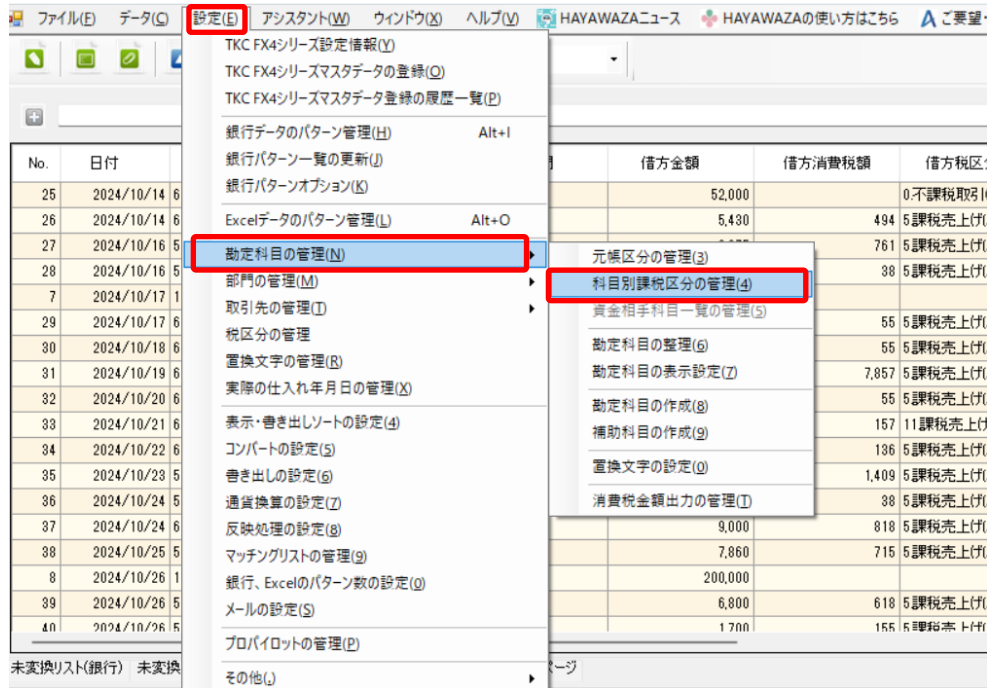
取引先コード	取引先名(略称等)	名称等	適格請求書発行事業者番号
--------	-----------	-----	--------------

上記の画面で「その他取引先(999999)」ではなく、摘要の「取引先名(随時入力)」出力を優先して出力する」にチェックを入れると、選択された摘要にある文字列を随時入力「O」でセットすることができます。

## 5. コンバート時の勘定科目と課税区分について

HAYAWAZA では、各事業所単位で勘定科目と課税区分を管理しています。

メニューの「設定」→「勘定科目の管理」→「科目別課税区分の管理」を選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面で勘定科目と課税区分の関連付けをしています。基本的には、1つの勘定科目に複数の課税区分が関連付けされていますが、「優先順位」を指定することでコンバート時の課税区分を選定しています。

以下の画面に、「5454.運賃」に関する設定が表示されています。

科目別課税区分の管理

+ 新規登録

優先順位について: 優先順位は、「0(最優先)~99」の順で指定可能です。

科目コード	勘定科目名	課税区分	優先順位
5452	ガス代	5 課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5453	水道料	5 課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5454	運賃	5 課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5454	運賃	0 不課税取引 (税外取引)	1
5454	運賃	8 非課税仕入れ・同対価の返還	1
5455	減価償却費	0 不課税取引 (税外取引)	1
5456	修繕費	5 課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5457	租税公課	0 不課税取引 (税外取引)	1
5458	賃借料	5 課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5458	賃借料	8 非課税仕入れ・同対価の返還	1
5459	保険料	8 非課税仕入れ・同対価の返還	1
5461	消耗品費	5 課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1

閉じる

デフォルトでは優先順位がすべて1となっており、この場合は、該当科目の一番上に表示されている課税区分「5」が使用されます。

19	2024/10/09	5461	消耗品費	18,897	107	5 課税売上げにのみ要する課税仕入れ	印刷費
20	2024/10/10	5457	租税公課	2,000	0	不課税取引 (税外取引)	印紙
21	2024/10/11	5454	運賃	10,000	909	5 課税売上げにのみ要する課税仕入れ	電車回数券
22	2024/10/11	6223	接待交際費	3,213	292	5 課税売上げにのみ要する課税仕入れ	黒鉛

他の課税区分を使用したい場合は、優先順位を変更する必要があります。

注意：優先順位は、「0」が最も優先度が高く、「99」が最も優先度が低いものとなります。

「科目別課税区分の管理」画面で、使用したい課税区分をダブルクリックすると、「科目別課税区分の登録」画面が表示されます。



科目別課税区分の登録

勘定科目: 5454 運賃

課税区分: 8 非課税仕入れ・同対価の返還

優先順位: 0

登録する キャンセル

上記の画面で優先順位の変更を行います。今回は使用したい課税区分の優先順位を「0」とします。変更したら「登録する」を選択します。

新規登録

優先順位について: 優先順位は、「0(最優先)~99」の順で指定可能です。

科目コード	勘定科目名	課税区分	優先順位
5438	退職金	0:不課税取引(税外取引)	1
5441	外注加工費	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5451	電力費	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5452	ガス代	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5453	水道料	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5454	運賃	8 非課税仕入れ・同対価の返還	0
5454	運賃	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5454	運賃	0:不課税取引(税外取引)	1
5455	減価償却費	0:不課税取引(税外取引)	1
5456	修繕費	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5457	租税公課	0:不課税取引(税外取引)	1
5458	貸借料	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5459	借借料	0:不課税取引(税外取引)	1

閉じる

課税区分「8」の優先順位が「0」となり、該当科目の一番上に表示されます。

※優先順位が最も高いものが、一番上に表示されます。

この状態で「5454.運賃」を使用してコンバートすると、課税区分「8」が使用されます。

2024/10/10	5457租税公課		2,000	0:不課税取引(税外
2024/10/11	5454 運賃		10,000	8 非課税仕入れ・同...
2024/10/11	6223接待交際費		3,213	292 5課税売上げにのみ...

## 6. 書き出し準備

TKC FX4 版では、自動連動は行われないので、HAYAWAZA で仕訳データを出力し、TKC FX4 シリーズもしくは FX4 クラウドで取り込み処理を行う必要があります。仕訳エディタに全ての仕訳を反映させ、書き出しを選択すると、以下の「取引先の書き出し設定に関する注意」画面が表示されます。



確認いただき、必要がなければ「閉じる」を選択してください。

次の画面で書き出しオプションを設定することが出来ます。



※画面左上の書き出し件数には現在書き出し可能な仕訳件数が表示されています。

### ・書き出しデータオプション

「仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)」:

書き出し可能な仕訳の内、現在仕訳エディタに表示されている仕訳のみを書き出す場合にチェックを入れます。

「すでに書き出された仕訳データを対象」:

一度書き出し済みの仕訳データを再度書き出す場合にチェックをつけます。

仕訳エディタに書き出したい仕訳を表示させ、書き出しデータオプションのチェックを両方つけることにより、再度書き出しを行うことができます。

R.06/04/01~R.07/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

- 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

- 書き出した仕訳を削除する
- ゴミ箱の仕訳を削除する

事業区分 出力ファイル 部門内訳 レコード番号 消費税金額

- すべての仕訳に事業区分を出力する

書き出しの対象期間

- 現在の会計期間すべて選択  会計期間外も対象とする
- 対象期間を指定する 2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月31日

元帳摘要

「元帳摘要」への書き出しオプション

- 借方摘要1  貸方摘要1
- 借方摘要2  貸方摘要2
- 借方摘要3  貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

- 前後の空白を削除  連続する空白を空白に置換
- 重複する摘要は出力しない
- 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

- パターン毎の書き出しを優先する

書き出す(Y) キャンセル(N)

### ・出力後オプション

「書き出した仕訳を削除する」

仕訳の書き出しを行っても HAYAWAZA の中にデータが残っており、再度書き出しを行う事が出来ますがこちらのチェックを付けると書き出しと同時に仕訳を削除し、HAYAWAZA にデータは残りません。

「ゴミ箱の仕訳を削除する」

ゴミ箱に隔離している仕訳を書き出しと同時に自動で削除します

R.04/04/01～R.05/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)

すでに書き出された仕訳データを対象

**出力後オプション**

書き出した仕訳を削除する

ゴミ箱の仕訳を削除する

事業区分 出力ファイル 部門内訳 レコード番号 消費税金額

すべての仕訳に事業区分を出力する

書き出しの対象期間

現在の会計期間すべて選択  会計期間外も対象とする

対象期間を指定する 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月31日

元帳摘要

「元帳摘要」への書き出しオプション

借方摘要1  貸方摘要1

借方摘要2  貸方摘要2

借方摘要3  貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

前後の空白を削除  連続する空白を空白に置換

重複する摘要は出力しない

連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

パターン毎の書き出しを優先する

#### ・事業区分

事業区分を出力したい場合にチェックを入れます。

R.04/04/01～R.05/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)

すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

書き出した仕訳を削除する

ゴミ箱の仕訳を削除する

**事業区分** 出力ファイル 部門内訳 レコード番号 消費税金額

すべての仕訳に事業区分を出力する

書き出しの対象期間

現在の会計期間すべて選択  会計期間外も対象とする

対象期間を指定する 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月31日

元帳摘要

「元帳摘要」への書き出しオプション

借方摘要1  貸方摘要1

借方摘要2  貸方摘要2

借方摘要3  貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

前後の空白を削除  連続する空白を空白に置換

重複する摘要は出力しない

連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

パターン毎の書き出しを優先する

・出力ファイル

月単位でファイルを出力したい場合にチェックをいれます。

R.04/04/01~R.05/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

- 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

- 書き出した仕訳を削除する
- ゴミ箱の仕訳を削除する

事業区分 **出力ファイル** 部門内訳 レコード番号 消費税金額

月単位でファイルを出力する

書き出しの対象期間

- 現在の会計期間すべて選択  会計期間外も対象とする
- 対象期間を指定する 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月31日

元帳摘要

「元帳摘要」への書き出しオプション

- 借方摘要1  貸方摘要1
- 借方摘要2  貸方摘要2
- 借方摘要3  貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

- 前後の空白を削除  連続する空白を空白に置換
- 重複する摘要は出力しない
- 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

パターン毎の書き出しを優先する

・部門内訳

複合仕訳の場合で、部門内訳で書き出ししたい場合はチェックをいれます。

R.04/04/01~R.05/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

- 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

- 書き出した仕訳を削除する
- ゴミ箱の仕訳を削除する

事業区分 出力ファイル **部門内訳** レコード番号 消費税金額

複合仕訳を部門内訳で出力する(可能な仕訳のみ)

書き出しの対象期間

- 現在の会計期間すべて選択  会計期間外も対象とする
- 対象期間を指定する 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月31日

元帳摘要

「元帳摘要」への書き出しオプション

- 借方摘要1  貸方摘要1
- 借方摘要2  貸方摘要2
- 借方摘要3  貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

- 前後の空白を削除  連続する空白を空白に置換
- 重複する摘要は出力しない
- 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

パターン毎の書き出しを優先する

・レコード番号

出力する仕訳の開始レコード番号を指定することができます。

R.04/04/01~R.05/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しの対象期間  
 現在の会計期間すべて選択  会計期間外も対象とする  
 対象期間を指定する 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月31日

元帳摘要  
「元帳摘要」への書き出しオプション  
 借方摘要1  貸方摘要1  
 借方摘要2  貸方摘要2  
 借方摘要3  貸方摘要3  
連結文字: 半角スペース  
 前後の空白を削除  連続する空白を空白に置換  
 重複する摘要は出力しない  
 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない  
 パターン毎の書き出しを優先する

書き出しデータオプション  
 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)  
 すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション  
 書き出した仕訳を削除する  
 ゴミ箱の仕訳を削除する

事業区分 出力ファイル 部門内訳 **レコード番号** 消費税金額

開始レコード番号: 1

書き出す(Y) キャンセル(N)

・消費税金額

消費税金額を別記として出力したい場合にチェックを入れます。

R.04/04/01~R.05/03/31

書き出し件数 **47 件**

書き出しの対象期間  
 現在の会計期間すべて選択  会計期間外も対象とする  
 対象期間を指定する 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月31日

元帳摘要  
「元帳摘要」への書き出しオプション  
 借方摘要1  貸方摘要1  
 借方摘要2  貸方摘要2  
 借方摘要3  貸方摘要3  
連結文字: 半角スペース  
 前後の空白を削除  連続する空白を空白に置換  
 重複する摘要は出力しない  
 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない  
 パターン毎の書き出しを優先する

書き出しデータオプション  
 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)  
 すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション  
 書き出した仕訳を削除する  
 ゴミ箱の仕訳を削除する

事業区分 出力ファイル 部門内訳 **消費税金額**

消費税金額を別記として出力(消費税金額の自動計算なし)

書き出す(Y) キャンセル(N)

・「元帳摘要」への書き出しオプション

HAYAWAZA では摘要を借方・貸方でそれぞれ3つまで設定できますがTKCFX4の摘要は一つとなります。HAYAWAZA から出力する際は、6つの摘要を連結して出力します。

HAYAWAZA に入力されている摘要のうち、書き出す摘要を指定できます。HAYAWAZA で入力されていてもこのチェックが外れている場合は出力されません。摘要は「借方摘要1～3」、「貸方摘要1～3」の順に連結されます。

書き出したい摘要にチェックをつけます。

「連結文字」

摘要と摘要を連結する文字を指定する事が出来ます。

「連結文字」を選択し、以下のリストから指定します。

「前後の空白を削除」

摘要の空白を削除して書き出しを行います。

「連続する空白を空白に置換」

摘要を連結した際に、複数の空白を削除します。

「重複する摘要は出力しない」

同一の摘要については出力されないようにします。

「連結文字の前後に摘要がないとき、連結文字を使用しない」

摘要に入力がない場合は、連結文字が出力されないようにします。

R.04/04/01~R.05/03/31

書き出し件数 **47 件**

書き出しの対象期間  
 現在の会計期間すべて選択  会計期間外も対象とする  
 対象期間を指定する 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月31日

書き出しデータオプション  
 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)  
 すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション  
 書き出した仕訳を削除する  
 ゴミ箱の仕訳を削除する

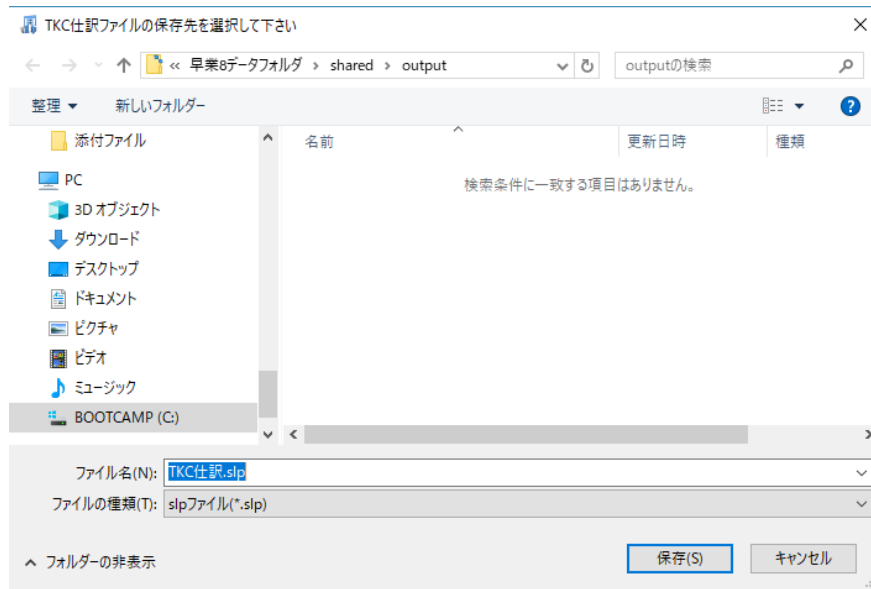
元帳摘要  
「元帳摘要」への書き出しオプション  
 借方摘要1  貸方摘要1  
 借方摘要2  貸方摘要2  
 借方摘要3  貸方摘要3  
連結文字: 半角スペース  
 前後の空白を削除  連続する空白を空白に置換  
 重複する摘要は出力しない  
 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない  
 パターン毎の書き出しを優先する

書き出す(Y) キャンセル(N)

詳しくはマニュアルの「書き出しの初期設定」をご確認ください。

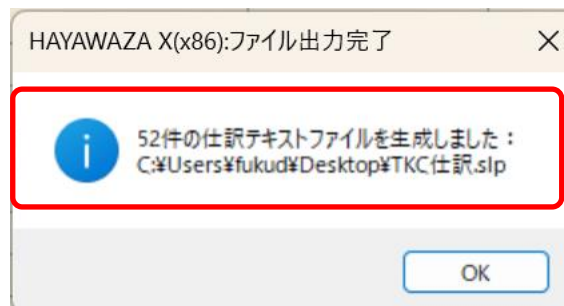


書き出し画面で全ての設定を確認し、「書き出す」を選択すると以下のファイルの出力先を選択する画面が表示されます。



保存先を選択し、「保存」を選択するとファイルの出力が行われます。このときに出力ファイル名を変更することは可能です。

ファイルの書き出しが完了すると、以下の画面が表示されます。



## 7. 仕訳データの取込

### 7.1 仕訳データの取込

TKC FX4 シリーズ、もしくはFX4 クラウドに HAYAWAZA で出力した仕訳を取込むためには、以下の設定が必要となります。

手順1：「業務システムの登録」の確認

手順2：「読込フォルダの設定」の登録

手順3：「他社システム自動仕訳の取込」

#### 手順1：「業務システムの登録」の確認

「業務システムの登録」の確認では、以下の「仕訳連携」→「業務システムの登録」を選択します。



選択すると以下の画面が表示されます。

業務システムの登録

ファイル(F) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業務(D) 月次・年次(E) 経営計画(G) 会社情報(H) 表示(I) ランドウ(M)

登録 修正 削除 上へ移動 下へ移動 F4メニュー 印刷 虎の巻

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 1年12月31日(火)

連携システム情報

コード	頭	システム名
05	SX	戦略販売購買情報システム (SX)
04	PX	戦略給与情報システム (PX)
07	A1	固定資産管理システム
08	FM	FMS
13	PM	支払管理サブシステム
71	CR	入金管理サブシステム
12	IB	他社システム (IB/FB)
14	TX	期末整理仕訳 (TPS1000)
1000	S0	他社システム(期末整理)
16	TY	期末整理仕訳 (TPS2000)
17	MT	FinTechサービス経由
101	GY	業務システム
102	HO	販売の王様
18	RZ	レジからのデータ
103	F4	F×4クラウド
998	AA	会計伝票

コード: 103  
 頭文字: F4  
 システム名: F×4クラウド

自動仕訳番号の連続性チェック  
 項目「自動仕訳番号」が連続していない場合に警告を表示  
 自動仕訳番号の付番ルール  
 無期限に継続  事業年度ごとに付番  月ごとに付番

ファイルのタイムスタンプチェック  
 作成後に更新されたファイルの場合に警告を表示  
 作成後、 日経過しているファイルの場合に警告を表示

同一仕訳のチェック  
 以下の項目が同一である仕訳がすでに存在する場合に警告を表示  
 ・取引年月日、勘定科目、取引先、取引金額

消費税率のチェック  
 標準税率・軽減税率と異なる税率が存在する場合に警告を表示  
 当システムから連携する仕訳は「期末整理仕訳」とする  
 TKC証憑ストレージサービスに保管された証憑の証憑IDを併せて読み込む

OK キャンセル

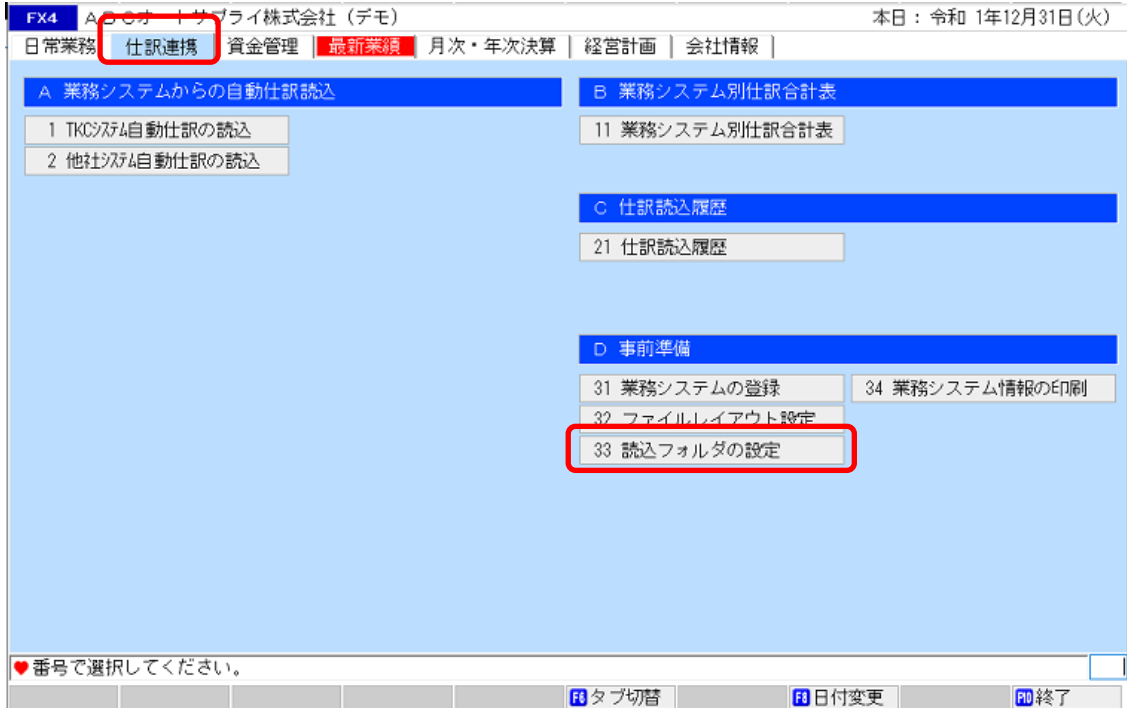
♥ 処理を選択してください。

F2 前頁 F3 次頁 F10 F4メニュー

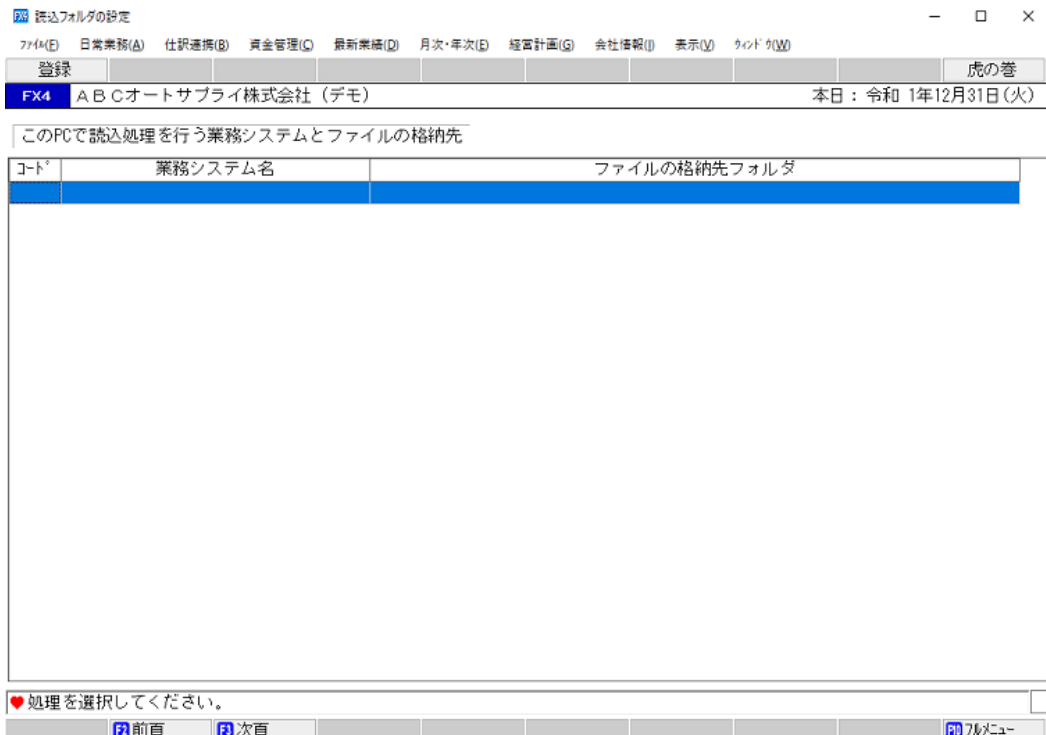
上記の画面でコード番号および、システム名（HAYAWAZA の仕訳データを取り込むためのシステム）が登録されているのを確認して下さい。確認できましたら次の手順に進みます。

## 手順2：「読込フォルダの設定」の登録

「読込フォルダの設定」の登録では、以下の「仕訳連携」→「読込フォルダの設定」を選択します。



選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面で「登録」ボタンを選択します。選択すると以下の画面が表示されます。

読込フォルダの設定

業務システム  
103 FX4クラウド

仕訳ファイルの格納先フォルダ  
C:\Users\user\Desktop\FX4\仕訳ファイル 参照

一覧 OK キャンセル

上記の画面で「業務システム」のコードを「103」と入力するとシステム名が表示されます。その後、「参照」ボタンを選択して取り込む仕訳ファイルが存在するフォルダを指定します。

(今回は、「C:\Users\user\Desktop\FX4\仕訳ファイル」を使用します)  
選択後、「OK」ボタンを選択すると以下の画面が表示されます。

読込フォルダの設定

ファイル(E) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業務(D) 月次・年次(E) 経営計画(G) 会社情報(I) 表示(O) ウィンドウ(W)

登録 修正 削除

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 1年12月31日(火)

このPCで読込処理を行う業務システムとファイルの格納先

コード	業務システム名	ファイルの格納先フォルダ
103	F×4クラウド	C:\Users\user\Desktop\FX4\仕訳ファイル

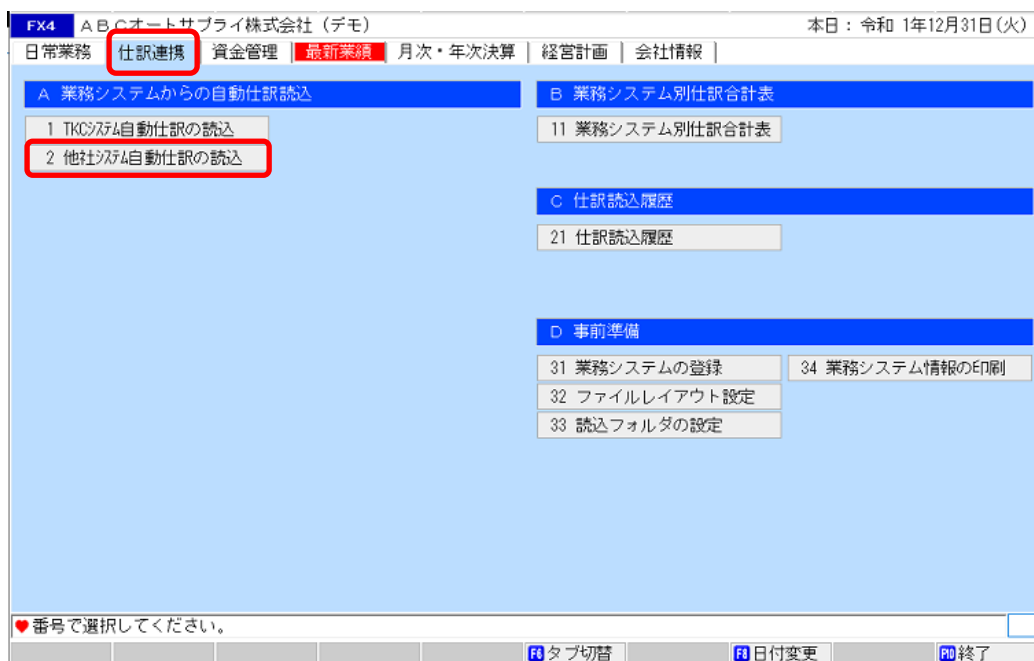
♥ 処理を選択してください。

前頁 次頁 ヘルプメニュー

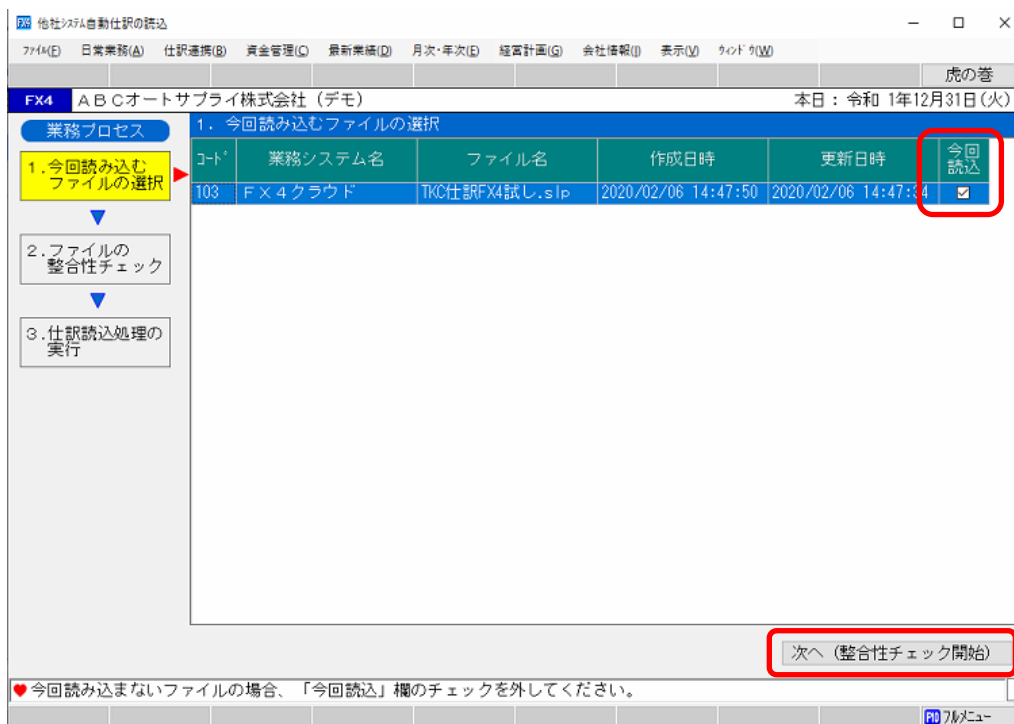
上記の画面でコード「103」、システム名「FX4クラウド」、「ファイルの格納フォルダ」が登録されているのを確認して下さい。確認できましたら次の手順に進みます。

### 手順3：「他社システム自動仕訳の取込」

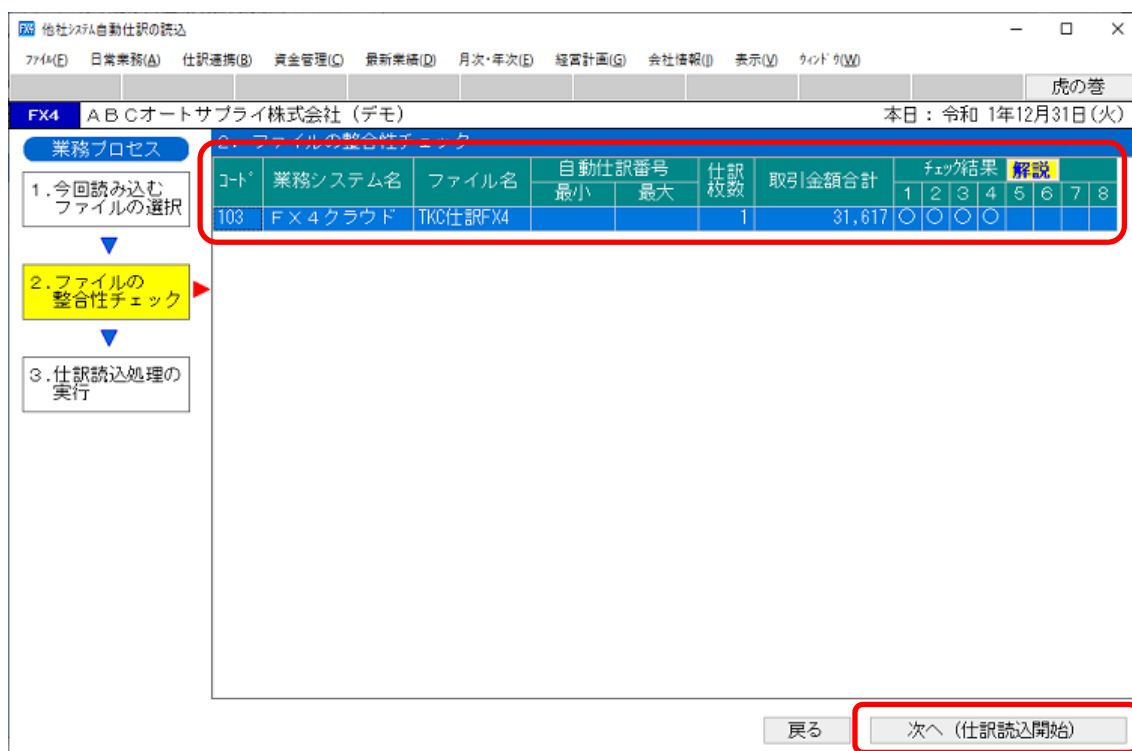
「他社システム自動仕訳の取込」の登録では、以下の「仕訳連携」→「他社システム自動仕訳の取込」を選択します。



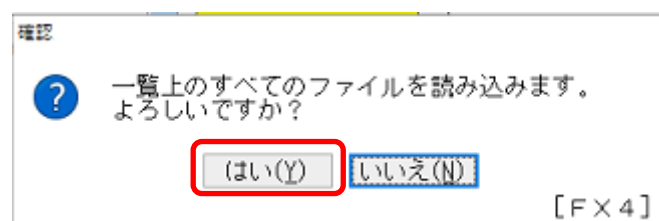
選択すると以下の画面が表示されます。



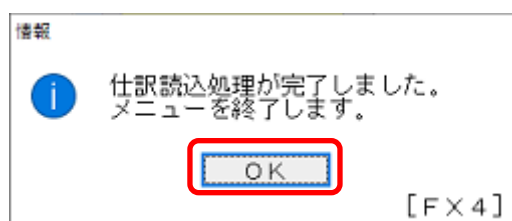
上記の画面が表示されたら「今回読込」のチェックを確認して「次へ（整合性チェック開始）」ボタンを選択します。選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面が表示されたらチェック結果が表示されます。問題なければ「次へ（仕訳読込開始）」ボタンを選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面で「はい」を選択すると読込が開始されます。読込が終了すると以下の画面が表示されます。



## 7.2.TKC 取込時のエラー対処方法

本章では、生成した仕訳ファイルを TKC に取込時にエラーが発生した時の対処方法についてご説明致します。

発生するエラー一覧は以下の通りです。

- 将来の日付エラー
- 資金収支区分エラー

### • 将来の日付エラー

本エラーは、仕訳の取引年月日が「本日の日付」を超えている場合があります。本日の日付を再度確認してから仕訳ファイルの取込を行って下さい。

### • 資金収支区分エラー

本エラーは、収支大分類が1～7および収支小分類が1～12の範囲でない場合に発生します。

このエラーを解決するためには、以下の方法があります。

- 1) 会計事務所専用画面から「資金相手科目」を登録する
- 2) HAYAWAZA の「資金相手科目一覧の管理」から勘定科目を登録する

### 1) 会計事務所専用画面から「資金相手科目」を登録する

「システム情報」から「資金相手科目」を選択します。

勘定科目ごとに借方計上時・貸方計上時それぞれに対応する収支（内訳）区分を登録します。

更新後、再度、仕訳ファイルの取込を行うと「資金収支区分エラー」が解消されます。



## 2) HAYAWAZA の「資金相手科目一覧の管理」から勘定科目を登録する

登録方法は、以下の通りです。HAYAWAZA の事業所を開きます。

メニューの「設定」→「勘定科目の管理」→「資金相手科目一覧の管理」を選択します。



選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面が表示されたら対象の行をダブルクリックすると以下の画面が表示されます。



上記の画面で「新規登録」ボタンを選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面で対象の勘定科目と記号を選択したら「登録する」ボタンを選択します。選択後、メイン画面に戻り、仕訳ファイルを生成して下さい。